



12月のほけんだより



年の瀬を迎え、12月はあわただしく過ぎていきます。子どもたちにとっては、クリスマスにお正月休みと、お楽しみがいっぱいの月ですが、体調管理には十分気を配っていきましょう。



ノロウイルスに要注意

冬場に増えるノロウイルスは、通常10月から2月ごろまで感染のシーズンが続きます。ウイルスはカキやアサリなどの二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染より、感染者のおう吐物、排せつ物からうつる2次感染のケースが多いようです。

感染すると、激しい下痢やおう吐、腹痛があり、38度以上の発熱も伴います。今のところ、感染予防のワクチンや治療薬は開発されていないため、症状が出たら水分を補給しながら回復を待つしかありません。

予防としては、感染例が報告されている間は二枚貝は加熱して食べる、また食事の際にはせっけんでよく手を洗う、などです。ノロウイルスを殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。

感染者は症状が回復しても、その後1週間~1か月間、排せつ物とともにウイルスが体外に出るといわれています。発症から1月ほどは排せつ物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は、塩素系消毒剤をしみこませた布などでふくようにしましょう。

おねがい

長いお休み中、大掃除やお正月準備など、ご家族で過ごす中で、一緒にお手伝いをするお子様も多いと思います。

ぜひ、保育園の準備も親子で行うようにしてください。コップや上履きを親子で一緒に洗ったり、清潔にする大切さを伝えたり、汚れの残りやすいところを一緒に確認してみてください。

また、持ち物の記名を確認してください。(薄くなっている場合は再度記名)一緒に持ち物の準備をすることや、持ち物に記入されている自分の名前を確認することで物を大切にすることが育ちます。

お知らせ

ほけんだよりや園からのお知らせなどでお伝えしていますが、熱や、熱がなくても咳・鼻水などの症状がある場合は必ず受診をして、家庭で過ごすようにしてください。

熱はなくても、咳や鼻水などの症状のある場合、お迎えの連絡をさせて頂くことがあります。熱は、数字で分かりますが、咳や鼻水は数値化できません。普段の保育中の状態と比較して、状態を報告させていただきます。

また、主治医の指示で登園可と言われている場合でも、咳や鼻水などの症状がある場合は、ご家庭で様子を見ていただき、体調を整えるようにしてください。

新型コロナウイルスの感染拡大が報道等されています。保育園では、密にならないよう保育・行事などの工夫をしています。

保護者の方にも、登園・降園の際の手指消毒・体温測定、家庭で保育できる場合は集団での感染リスクを軽減するため家庭での保育のご協力をお願い致します。

もうすぐ長いお休みです

- 子どもたちが心待ちにしているクリスマスにお正月。年末年始は、外出などの機会が多く、生活リズムが乱れがちです。
- またコロナウイルス以外にも、様々な感染症の心配もあります。
- 休み中も早寝早起きを心がけ、規則的な生活リズムを崩さないように気を配りましょう。

新しい年、また元気な顔に会える事を楽しみにしています。

